

2013年 第14回 クレイ沖縄賞

## 採択テーマ 自然食材にふくまれる 生理活性化物質に注目した食

行動変容を促す新規の肥満・糖尿病予防医学の構築

2013年 第16回 はなまる賞

## 採択テーマ 玄米有効成分を活用した 肥満・糖尿病予防と治療法の開発

### 応募の経緯について

応募した当時は大学院生で応募できる研究費を探しており、インターネットでリバネス研究費の存在を知りました。自分の研究目的が「食べ物でいかに人の健康に寄与するか」ということだったので、企業からの意見も聞くことができることも魅力の一つでした。他の予算では、使用用途に限られるのに対して、リバネス研究費は自由に設定できることも良かったです。

### 申請テーマについて

私たちは、玄米が高脂肪食に対する嗜好性を軽減させることにより抗肥満・抗糖尿病効果を発揮していること、そして玄米に含まれる $\gamma$ -オリザノールがその効果の発現に関与していることを世界で初めて明らか

にしました。現在は、 $\gamma$ -オリザノールの作用メカニズムとして、視床下部における小胞体ストレスに関する経路への影響と、すい臓におけるインスリン分泌への影響について研究を行っています。

### 研究費はどのように役に立ったか？

リバネス研究費をいただいて、得たものは多くありました。例えば、企業の方々の視点から頂いたアイデアです。沖縄という地理的なことから、同じ分野の研究者同士でのディスカッションが多い中で、商品の形や普及の仕方など実用化をするために必要なアイデアをいただくことができ、実際に玄米を活用した商品展開の検討も進みました。また、学生の時期に自分の研究を他者に伝える経験ができたことも大きかったです。プレゼンテーションの技術は練習や場数を踏まないと高めることはできないと思います。研究費をいただいた年に超異分野学会にも参加しましたが、大学院生の立場で研究発表ができる場があることをうらやましく思いました。

特に実際に人に届けたい、社会で実用化されたいという研究者は、学生の段階でもぜひ挑戦してほしいと思います。(文／福田裕士)



小塚智沙代さん

(こづか・ちさよ)

琉球大学大学院医学研究科  
内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)  
特命講師 博士(医学)